2020年7月14日(火)

初等外国語教育法1組（12時50分～）

初等外国語教育法２組（14時40分～）

“Tell me and I will forget, show me and I may remember, involve me and I will learn.”

“現実感覚がなければ生きていられない。理想を持てなかったら、生きている資格がない。”（レイモンド･チャンドラー『プレイバック』より）

**第10章　いろいろな教材，教具の活用**

1節　教材，教具の選定の視点

〇その授業の目標を達成するためにどういった教材，教具が一番ふさわしいかとう視点を持つこと。

〇最近はいろいろな教材・教具がある。教材・教具に使われるのではなく，使いこなしたい。

１．視点①－音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

❶　児童の発達段階に合った教材を選択する

❷　教材の活用方法を工夫する

２．視点②－主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

❶　聞かせる内容と聞かせ方の工夫

❷　インタビュー活動用のワークシートの工夫

3．視点③―異文化理解について理解を深める

２節　教材，教具，機器の活用法と作成方法

１．実物，模型，写真，パペットなど

２．絵カード

３．マルチメディア教材―CD，DVD,PC,タブレット

3節　教材，教具，機器利用上の留意点

1)　使用目的を理解している

2)　特徴を理解・熟知している

3)　使用法を熟知している

4)　作成した教材，教具をリサイクルし，共有する

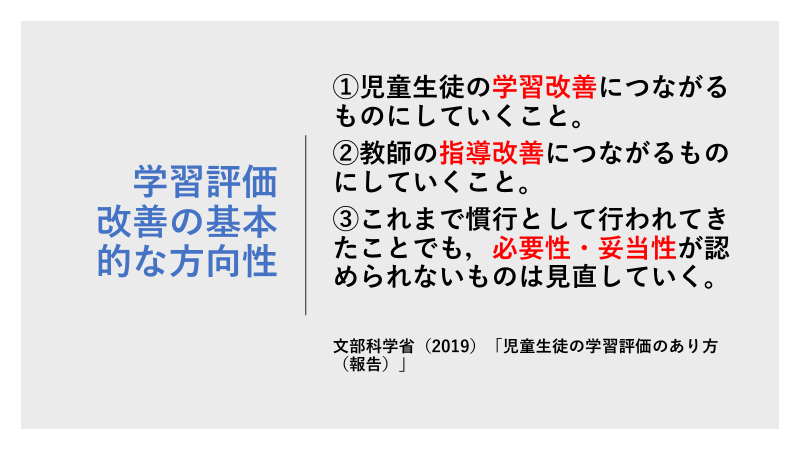
5)　その教材，教具がなくても授業ができる指導力をつける

**11章　評価の在り方，進め方**

☞これまでの評価は学習改善に役立ったか？　中間テストや期末テストを思い出してグループでディスカッションをしてください。

1節　評価とは

☞指導と評価の一体化とは何？



2節　評価方法

・筆記テスト

・パフォーマンス評価

・自己評価や相互評価

・ポートフォリオ評価

・児童の発表や行動の観察による評価

・CAN-DO 評価

・アンケート

・

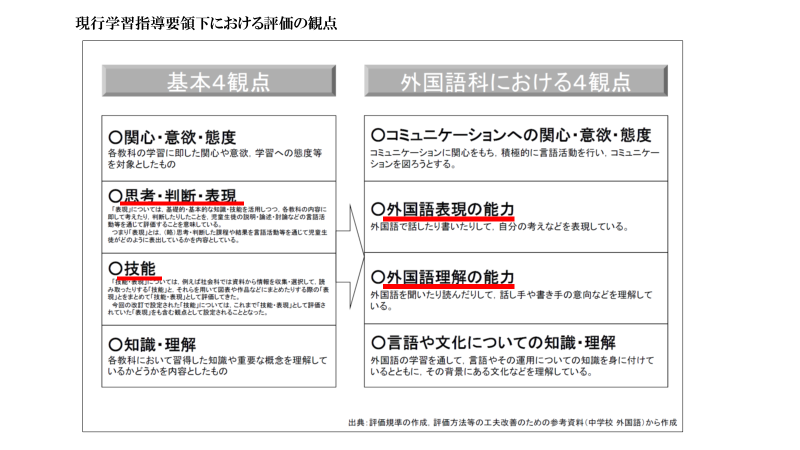
3節　評価の観点と望ましい評価のありかた

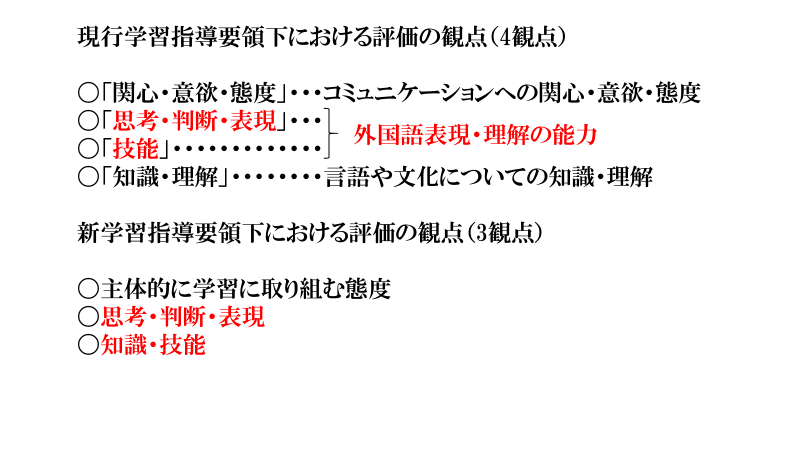
・現行（2020年度以前）の評価

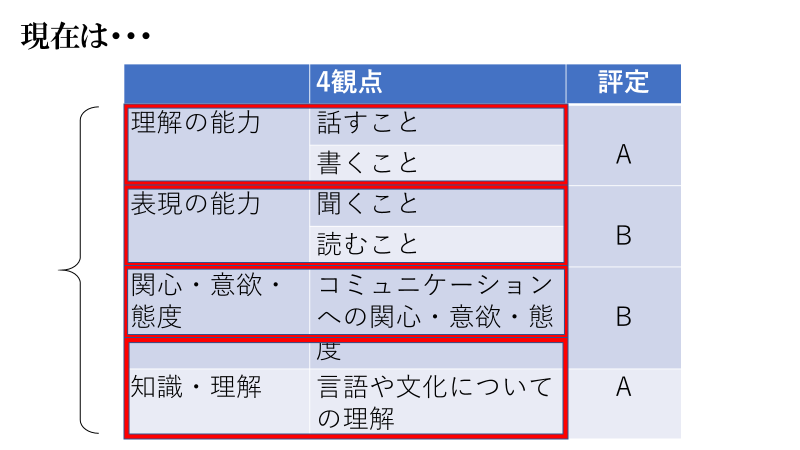
・新しい評価

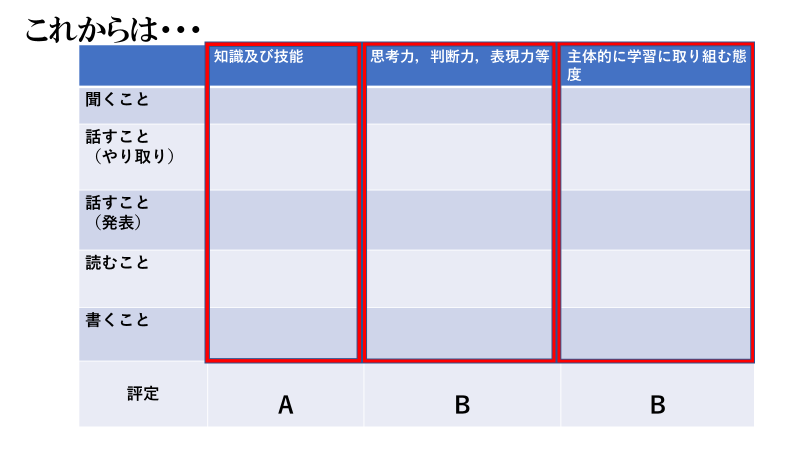
・外国語活動と外国語科の評価基準

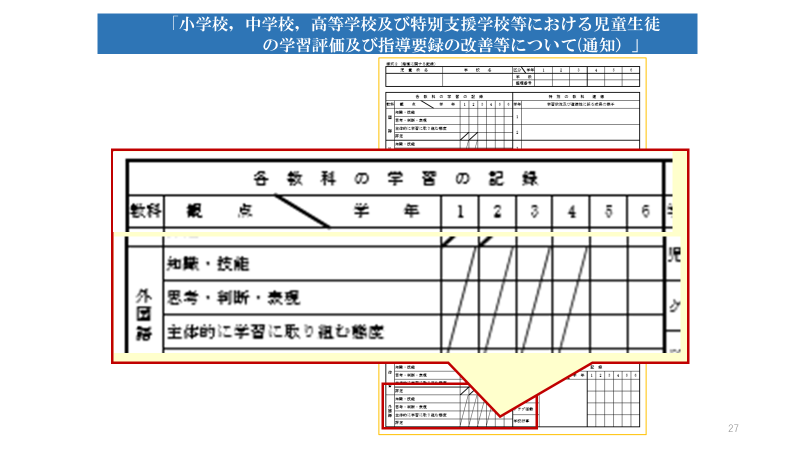
☞現行の評価と新しい評価はどこがどう違うのか？話し合ってみよう

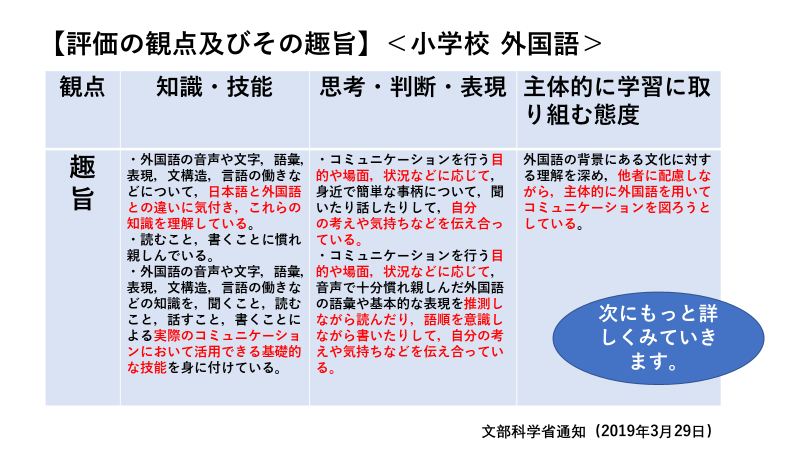












4節　さまざまな評価方法と進め方

１．児童の発表や行動の観察による評価

２．自己評価

３．パオ―マンス評価

☞パフォーマンス評価とはどんなものか？

　❶態度面

　❷スキル面

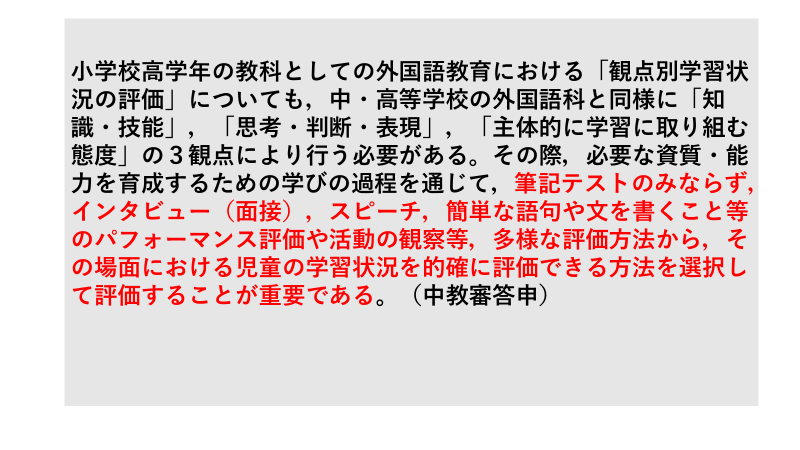
４．ポートフォリオ評価

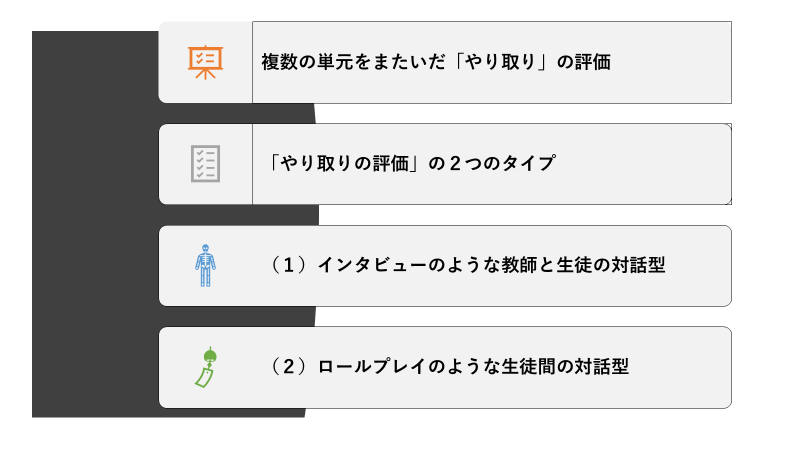
☞ポートフォリオ評価とは何？

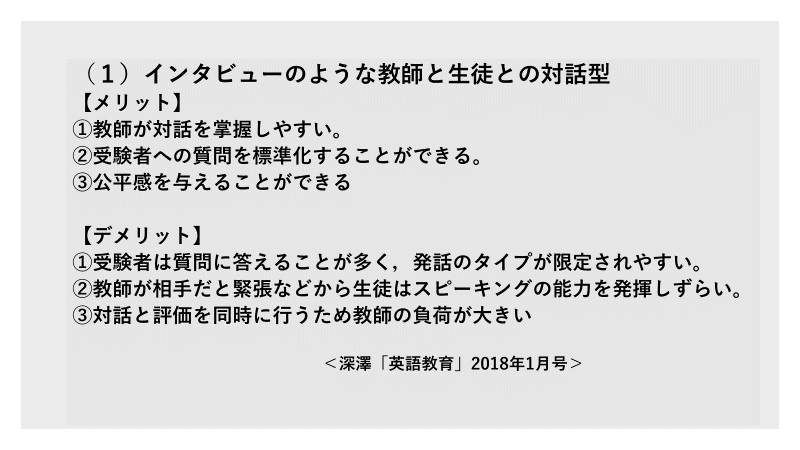
５．その他の評価方法

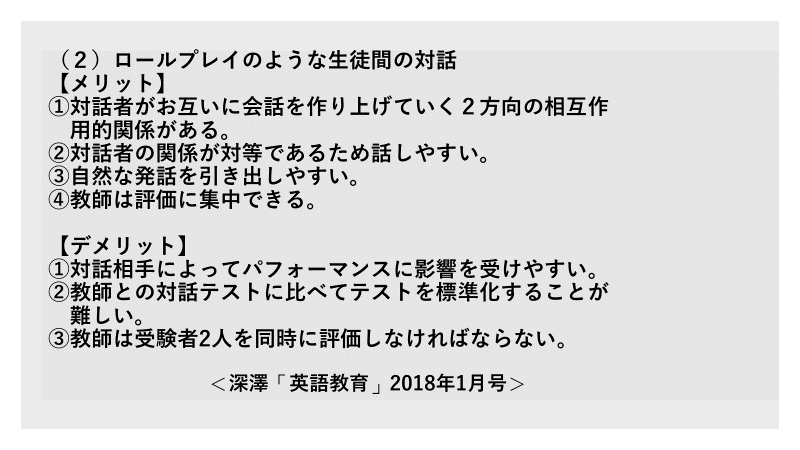
5節　評価の活かし方と留意点











学期末の課題

❶教科書184頁の発展課題

　　次の条件で，復習，導入，展開，発展部分の学習指導案を作成しよう。

　　・本時の目標：好きな教科と好きでない教科が同じ友達を見つけよう。

　　・主な表現　I like math.

Do you like science? Yes, I do. / No, I don’t,

　・語彙　　　Japanese, math, social studies, science, Englishなどの教科名

　　☞7月18日(土)　昼12時までにWordで作成しメール添付で提出します。

　 ☞A4版の標準設定で2頁程度とします。様式は私のHPにあげておきます。

❷教科書198頁の学習課題

　　外国語科の授業ビデオを参観し，3節２の視点（197頁）から，授業参観のレポートをまとめよう。

　　☞7月28日(火)に45分のビデオを見ます。残りの45分で授業観察レポートをまとめメール添付で提出します。

❸期末テスト

　　選択式及び記述式のテストを行います。

　　☞8月4日(火)　にメール添付にてテストを配信します。

　　☞テストをダウンロードして解答してください。

　　☞解答したもの（Wordで問題用紙にそのまま記述）を時間内にメール添付で送信します。それ以降に提出したものは認めません。

　　☞当日はZoom によるテスト監督を行います。

　　☞教科書や資料は参照しても構いません。

評価は❶～❸，及び，リフレクションを総合して行います。